

令和8年度

渋谷区立渋谷本町学園中学校 学校説明会

日時:令和8年9月18日(金) 午後14時00分～午後14時45分

会場:地下2階 中体育室

目 次

- 1 渋谷本町学園 学校経営方針**
- 2 週時程表**
- 3 評価・評定について**
- 4 主な行事について (令和8年度行事予定 参照)**
- 5 学校生活・部活動について**
- 6 進路状況**
- 7 特別支援教育**



令和8年度 学校経営計画

澁谷本町学園

校長 松岡弘悟

和をもって貴しとなす

1 から 9 へ 無限大へと

From first to ninth grade, we pass infinity.

【供谷本町学園の校章】



教育目標

社会を生き抜く人間の育成を目指して

自ら可能性を生涯に渡って追求する。

・【未来の学校で大切にする、7つの力との関連】

かんがえる（知）	・基礎・探究・挑戦・創造・自律
心ゆたかに（徳）	・基礎・協働・共感・創造・自律
たくましく（体）	・基礎・挑戦・協働・共感・自律

令和8年度 渋谷区立渋谷本町学園 学校経営方針

【教育目標】社会を生き抜く人間の育成を目指して

かんがえる 心ゆたかに たくましく

ウェル・ビーイング (Well Being)

※誰もが、持続的な幸福を実現する

●かんがえる(知) = 根気 = 基礎、探究、挑戦、創造

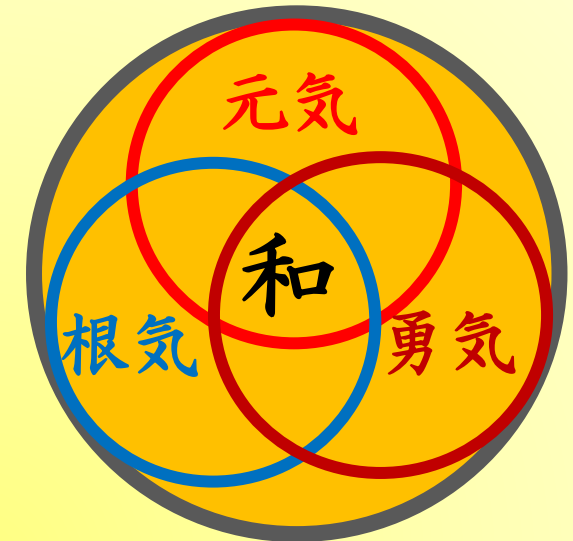
* チャレンジ(挑戦)、追及

●心ゆたかに(徳) = 勇気 = 基礎、共感、協働、自律

* 多様性の理解、特別支援教育(インクルージョン)

●たくましく(体) = 元気 = 基礎、挑戦、協働、自律

* すべての活動の源、自己調整



和を以てと貴しと為す

小中一貫教育による円滑な接続

コミュニティ・スクールの充実

探究シブヤ未来科の推進

【渋谷区教育目標】つくろう、ちがいを生かし合える、未来の学校
未来の学校で大切にする、7つの力

～子どもたちが自ら、自分の可能性を発見していくために～

・基礎 ・共感 ・協働 ・探求 ・自律 ・挑戦 ・創造

【東京都教育目標】

・互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間

・社会の一員として、社会に貢献しようとする人間

・自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間

1 から9へ 無限大へと

From first to ninth grade, we pass infinity

【渋谷本町学園の校章】



渋谷本町学園コミュニケーションマーク



渋谷本町学園

自己実現

社会貢献

すべての教育活動を通じて

各教科等

学校行事

児童・生徒会活動

総合的な学習の時間
(探究シブヤ未来科)

アントレプレナーシップ

サイエンス・テクノロジー

グローバル
コミュニケーション

インクルーシブ教育システム

Art & Design

渋谷区立小中一貫教育校渋谷本町学園
SHIBUYA HONMACHI GAKUEN
本町のここから世界へ
本町のいまから未来へ

1 小中一貫教育の基本的な考え方

小中一貫教育を実施することにより、児童・生徒一人一人の「生きる力」が一層育まれ、充実した学校生活を送り、児童・生徒が渋谷本町学園で学んでよかったと思えるようにしたい。また、小中一貫教育をとおして渋谷区や本町地区の自然や文化、歴史、地域を支える人々などについて、小中学校で探究「シブヤ未来科」を計画的に学んでいくことで郷土のよさを改めて認識させたい。こうした取組により、児童・生徒が渋谷区を誇りに思い、周りの人に感謝し、本区に愛着をもち、貢献できる人に成長させたい。

2 小中一貫教育で目指す資質・能力の育成

将来、子供たちが、職業生活や市民生活、文化的生活を過ごす上で、よりよく社会や世界と関わり、よりよい人生を送るために、必要な資質・能力を育成する。

○育成する力

批判的思考力 問題解決能力 先見性 感性・表現・創造力 メタ認知力など

○態度・価値

受容・共感・敬意 協力し合う心 好奇心・探究心 困難を乗り越える心 向上心など

3 教育目標等

【教育目標】

かんがえる 心ゆたかに たくましく

(理念)和を以て貴しと為す

<達成に向けたキーワード> 元気 勇気 根気



【目指す学園像】

児童・生徒の主体性の育成と魅力ある学園づくり

- 1 児童・生徒が目標をもち、自ら考え、判断して行動する。
- 2 児童・生徒同士が互いの良さを認め合い、他者とかかわる力を高める。
- 3 児童・生徒一人一人が自己の可能性を信じ、能力の開花を追及する。
- 4 児童・生徒の発達段階に応じて、意図的・計画的な教育活動を推進する。
- 5 児童・生徒一人ひとりを共感的に理解し、心に響く道徳教育を推進する。
- 6 教職員が弛まぬ授業改善を進め、児童・生徒の学びを保障する。

【目指す児童・生徒像】

- ・夢をもち、自ら学ぶ児童・生徒（確かな学力）
- ・協働して課題に取り組む児童・生徒（豊かな心）
- ・元気に笑顔であいさつする児童・生徒（健やかな体）
- ・地域に貢献する児童・生徒（郷土愛）

4 小中一貫教育推進の形態

【教育課程における学年の区切り】

児童・生徒の心や身体の発達段階を踏まえ、初等部（1～4年生）で基礎・基本の定着を図り、中等部（5～7年生）は、教科担任制を取り入れるなど、基礎・基本の定着を徹底することに重点を置いた指導を行う。高等部（8・9年生）は、生徒の個性・能力を十分に伸ばし、実践力の伸長を図る指導を行う。

5 小中一貫教育推進のための視点

小・中学校で目指す児童・生徒像を共有し、その実現に向け、初等部(1年生～4年生)・中等部(5年生～7年生)・高等部(8年生・9年生)ごとに「身に付ける力」とそれに応じた指導内容など、教育活動全体のつながりがもてるように設定し、指導の充実を図るための目標を設定する。

(1) 教育課程の工夫・改善

小中学校の指導内容の連続性や系統性を意識した小中一貫カリキュラムの編成や指導方法などの工夫・改善を図り、知・徳・体の調和のとれた育成を目指す。また、9年間を見通した指導の充実を図り、教育の質の向上を推進する教育課程を編成する。

(2) 教育活動の連続性の確保

- ①児童・生徒が、共に活動する機会により教育活動の継承・連続性を確保するとともに、小・中学校の学校生活の円滑な接続に向けた取組を推進する。
- ②教職員間の「連携」と「協働」を深め、教育活動にかかわる情報の共有化と小中一貫した指導方法や行事等の企画・立案に関して、その実現に向けて交流の考え方や取組方法等、これまでの知見を活かして具体的な実践を推進する。

(3) 家庭・地域との連携・協力

小中一貫教育の取組について、児童・生徒や保護者、教職員等への学校評価アンケートを実施し、点検・改善するとともに、家庭や地域との「連携」「協力」をより一層推進する。

6 小中一貫教育の推進により期待される効果

(1) 5・6年生から7年生への円滑な接続

小学校高学年から可能な範囲で教科担任制を取り入れ、小学校と中学校の教員が相互に乗り入れて授業を行うことによって、中学校への不安感を緩和し、中学校進学に対する期待感の高まりと諸活動への見通しをもった学校生活を送ることが期待できる。

(2) 学力の向上

義務教育9年間を見通し、児童・生徒の発達に即した系統性、継続性のある指導や中1ギャップの解消・緩和により、学習意欲の高揚が図られ、学力の向上が期待できる。

(3) 探究「シブヤ未来科」を通じた郷土を愛する豊かな人間性や社会性の育成

探究「シブヤ未来科」の学習をとおり、渋谷区や本町地区の豊かな自然や文化、歴史、地域を支える人々などについて、小・中学校で計画的に学んでいくことにより、渋谷を誇りに思い、郷土の良さを改めて認識することが期待できる。

(4) 教職員の意識改革

小・中学校教職員が、お子様の特性と課題を共有し、9年間で児童・生徒を育てる意識をもち、教育活動を実践する。小・中学校間の文化の違いやそれぞれのよさを理解し合い、学習指導や生徒指導によい変化が見られることが期待できる。

(5) 特別支援教育の充実

小・中学校教職員が特別な支援を必要とする児童・生徒の情報交換を密にし、より多くの交流の機会を設け、協力体制を整え、小・中学校で継続した指導を行うことができる。児童・生徒個々の可能性を最大限に伸ばし、自立して社会参加できる資質や能力を身に付けることが期待できる。

(6) 英語コミュニケーション能力の育成

ALTを有効活用し、中学校の英語授業や小学校の外国語・外国語活動の充実を図り、児童・生徒の国際性の醸成とともに英語学習への関心意欲の高まりが期待できる。

7 小中一貫教育の具体的な取組

(1) 児童・生徒の交流

- 学校行事等の合同実施や相互参加
 - ・校外学習、運動会、探究発表会等の合同実施、相互参加
 - ・スポーツの交流
 - ・小学生に対する中学生による指導
- 5、6年生の中学校体験
 - ・生徒会と児童会の交流
 - ・部活動見学、部活動体験

(2) 教職員の連携

- 合同研修会
 - ・テーマ別研修の実施(学習指導、道徳等)
 - ・児童・生徒理解に向けた情報交換
- 授業参観・授業研究
 - ・中学校教員による小学校での授業協力

(3) 9年間を見通した教育課程の編成等

- 学力・学習状況、生活状況等の分析による課題の共有
 - ・小中一貫教育の目標の設定と研究部会の設置
 - ・学習や生活の手引き等のリーフレット作成
- カリキュラムの作成
 - ・実態に基づくカリキュラム編成
 - ・指導方法の共通理解

【渋谷本町学園の校章】



渋谷本町学園コミュニケーションマーク



渋谷本町学園

R8 年度 週時程

通常時程 (50分授業) *生徒は、基本こちらの時程で過ごしています

♪チャイム	月	火	水	木		金
児童生徒登校	8:15~8:25					
♪始業	8:25(出席確認)					
朝礼(月) 朝学活	8:30~8:40 朝礼	8:25~8:35 朝学習 8:35~8:40 朝学活				
移動時間	5分					
♪1校時	8:45~9:35					
休憩	10分					
2校時	9:45~10:35					
休憩	10分					
3校時	10:45~11:35					
休憩	10分					
4校時	11:45~12:35					
給食	12:35~13:10					
昼休み	13:10~13:25			終学活 (委員会の日) 13:10~13:25		13:10~13:25
移動・準備	5分					
♪5校時	13:30~14:20					
休憩	10分		10分			
6校時	14:30~ 15:20		14:30~ 15:20	委員会 14:30~15:20		14:30~ 15:20
終学活 清掃*	15:20~ 15:30*	14:20~ 14:30	15:20~ 15:30*			15:20~ 15:30*
生徒下校	15:35	14:30	15:35			15:35

特別時程 (45分時程)

生徒登校	8:15~8:25		
♪始業	8:25 (出席確認)		
学活	8:25~8:30		
1校時	8:35~9:20		
休憩	10分		
2校時	9:30~10:15		
休憩	10分		
♪3校時	10:25~11:10		
休憩	10分		
4校時	11:20~12:05		
給食	12:05~12:40		
昼休み	12:40~12:55		
移動/準備	5分		
5校時	13:00~13:45		
学活	13:45~13:55	休憩	10分
生徒下校	14:00	6校時	13:55~14:40
		学活	14:40~14:50
		生徒下校	15:00

生徒数 (令和8年 9 月 1 日現在)

学年	7年	8年	9年	F 組	合計
学級数	3	2	2	1	8
生徒数	76	69	79	8	232

定期考査・評価・評定について

1. 定期考査(7・8年生 4 回、9年生3回)

①前期中間考査 6/10(水)・11(木) ……5教科

②前期期末考査 9/ 8(火)・9(水)・10(木) ……9教科

③後期中間考査 11/10(火)・11(水)・12(木) …9教科(9年生)

10(火)・11(木) ……5教科(7・8年生)

④後期期末考査 2/16(火)・17(水)・18(木) …9教科(7・8年生)

2・絶対評価

各教科に設定された、目標に対しての達成度を評価し、それから評定を出しています。

評価は、A、B、Cの三段階です。これは、各教科により目標・評価方法等が異なるので一概にいえませんが、一定の割合で付けています。つまり、目標に対して、80%以上の達成率でA。50%から80%未満までがB。50%未満がC。というように付けています。それらを総括して評定がつきます。

達成率	50%未満	50%以上80%未満	80%以上
評 価	C	B	A

以前は、人数の割合で評定がついていました。これが、相対評価というものでした。この利点は、全体の中で自分がどのくらいの位置にいるかが理解できることです。

それに対して、現在の評価評定は、一定の割合ではなく、目標に見合った評価評定がつきます。

これが絶対評価です。絶対評価の利点は、自分が努力したことが、成績に反映されるということです。

(1) 成績算出の具体的な流れ

① 観点毎に評価資料の収集

定期テストの他に
授業中の様々な場面
で、観点毎に評価



2 評価・評定への総括

① **観点別評価**は、各観点における達成状況（達成率）を踏まえ、A・B・Cで決定します。

『十分満足できる』：達成率80%以上…………… A ≪例≫ 小テストの合計点 300 点のうち 120 点

『概ね満足できる』：達成率80未満～50%以上…………… B → 達成率40%

『努力を要する』：達成率50%未満…………… C 提出物15回のうち12回の場合
→ 達成率80%

② **評定**は、各教科で設定した観点ごとの学習目標に対する達成状況を踏まえ、5段階で評定を行います。

『十分満足できるうち特に程度の高いもの』：達成率90%以上… 5

『十分満足できる』：達成率90未満～80%以上…………… 4

『概ね満足できる』：達成率80未満～50%以上…………… 3

『努力を要する』：達成率50未満～20%以上…………… 2

『一層の努力を要するもの』：達成率20未満…………… 1

③評価・評定例

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
得点／満点	84／100	85／100	92／100
観点別達成率	84%	85%	92%
観点別評価	A	A	A
教科の達成率	$(84+85+92) \div 3 = 87\%$		
教科の評定	A - A - A の【4】		

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
得点／満点	82／100	54／100	84／100
観点別達成率	82%	54%	84%
観点別評価	A	B	A
教科の達成率	$(82+54+84) \div 3 = 73\%$		
教科の評定	A - B - A の【3】		

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
得点／満点	98／100	78／100	95／100
観点別達成率	98%	78%	95%
観点別評価	A	B	A
教科の達成率	$(98+78+95) \div 3 = 90\%$		
教科の評定	A - B - A の【5】		

令和8年度 学校行事一覧(4月～9月) ※1段…全体行事 2段…初等部行事(1～4年) 3段…中・高等部行事(5～9年生)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
1	水	金 予定は変更になることがあります。 毎月の学園だよりもご確認ください。 ※(数字)は学年です。	月	水	土	火	1
2	木		火	木	日	水	2
3	金		水	金	月	木	3
4	土		木	土	火	金	4
5	日	火	金	日	水	土	5
6	月	水	土	月	木	日	6
7	火	木	日	火	金	月	7
8	水	金	月	水	土	火	8
9	木	土	火	木	日	水	9
10	金	日	水	金	月	木	10
11	土	月	木	土	火	金	11
12	日	火	金	日	水	土	12
13	月	水	土	月	木	日	13
14	火	木	日	火	金	月	14
15	水	金	月	水	土	火	15
16	木	土	火	木	日	水	16
17	金	日	水	金	月	木	17
18	土	月	木	土	火	金	18
19	日	火	金	日	水	土	19
20	月	水	土	月	木	日	20
21	火	木	日	火	金	月	21
22	水	金	月	水	土	火	22
23	木	土	火	木	日	水	23
24	金	日	水	金	月	木	24
25	土	月	木	土	火	金	25
26	日	火	金	日	水	土	26
27	月	水	土	月	木	日	27
28	火	木	日	火	金	月	28
29	水	金	月	水	土	火	29
30	木	土	火	木	日	水	30
31		日		金	月		31

令和8年度 学校行事一覧(4月～9月) ※1段…全体行事 2段…初等部行事(1～4年) 3段…中・高等部行事(5～9年生)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	木 平和・国際都市渋谷の日 都民の日	日 東京都教育の日	火 三者面談 4時間授業(7～9)	金 元日	月 全校朝礼 職場体験学習(7)	月 全校朝礼	1
2	金 避難訓練⑥ 個人面談終(E)	月 全校朝礼 進路面談・4時間授業(9)	水 安全指導⑧ 保護者会(1～6・E) 三者面談 4時間授業(7～9)	土	火 職場体験学習(7) 個人面談始(F)	火	2
3	土 学校公開④3時間授業 グリーン作戦(1・3・4)薬物乱用防止教室(6) 第2回進路説明会②	火 文化の日 部活動停止期間始 安全指導⑦	木 社会科見学(4) 三者面談 4時間授業(7～9)	日	水 職員会議⑨ 職場体験学習(7)	水 安全指導⑪	3
4	日	水 進路面談・4時間授業(9)	金	月	木 委員会・代表委員会⑩	木 委員会・代表委員会⑪	4
5	月	木 生活科見学(1) 進路面談・4時間授業(9)	土	火	金 中央委員会 個人面談終(F)	金 中央委員会	5
6	火	金 個人面談終(E) 進路面談・4時間授業(9)	日	水	土	土 【特別時程】学校公開⑤4時間授業(1～9) 探究発表会	6
7	水 前期終業式 4時間授業	土 くみんの広場バレード	月 全校朝礼	木 冬季休業日終	日	日 小中合同展覧会撤去	7
8	木 秋季休業日始 学校閉庁日始 連合音楽会	日	火	金 全校朝礼 5時間授業(小)	月 フロック朝礼 個人面談・三者面談 4時間授業(1～6)	月 振替休業日	8
9	金 秋季休業日終 学校閉庁日終	月 フロック朝礼	水 【特別時程】	土	火 安全指導⑩小学校音楽鑑賞教室(5) 個人面談・三者面談 4時間授業(1～6) 部活動停止期間始	火 フロック朝礼	9
10	土	火 後期中間考査1日目(7～9)給食なし 【特別時程】	木 委員会・代表委員会⑧ 5時間授業(1～9)	日	水 個人面談始(E) 個人面談・三者面談 4時間授業(1～6)	水 薬物乱用防止教室(9) シフヤ未来科探究フェス(6・9)PM	10
11	日	水 後期中間考査2日目(7～9)給食あり	金	月 成人の日	木 建国記念の日	木	11
12	月 スポーツの日	木 委員会・代表委員会⑦ 後期中間考査3日目(9)給食あり	土	火 安全指導⑨	金 避難訓練⑪ 個人面談・三者面談 4時間授業(1～6)	金	12
13	火 後期始業式 運動会児童係(6)5時間授業(2～5)	金 中央委員会	日	水 4時間授業(1～9)	土	土	13
14	水 【特別時程】4時間授業(1～9) 安全指導⑥	土	月 フロック朝礼 中央委員会	木 委員会・代表委員会⑨ 避難訓練⑨	日	日 本町まつり(本町CC)	14
15	木 委員会・代表委員会⑥	日 北浜RunRun	火	金 中央委員会	月 個人面談・三者面談 4時間授業(1～6)	月	15
16	金 中央委員会 子ども園運動会	月	水	土	火 後期期末考査1日目(7・8のみ)給食なし 【特別時程】	火 (中)卒業式予行と9年生を送る会	16
17	土 本町運動会	火 避難訓練⑦	木 クラブ⑦ 中学校音楽鑑賞教室(8・F)	日	水 後期期末考査2日目(7・8のみ)給食なし 校外学習(E)	水 9年給食最終日	17
18	日	水 【特別時程】4時間授業(1～9)	金 校外学習(F)	月 フロック朝礼	木 後期期末考査3日目(7・8のみ)給食あり	木 (中)卒業式準備 7・8年・F給食最終日	18
19	月	木 生活科見学(2) クラブ⑥ 校外学習(8)	土	火	金 校外学習(F)	金 給食最終日(小) 卒業式予行(小)5・6h 卒業式(中)	19
20	火	金	日	水	土	土	20
21	水	土	月 児童生徒総会(5～9) 【午前のみ特別時程】架け橋プロジェクト(昼休み)	木 クラブ⑧クラブ見学(3)	日	日 春分の日	21
22	木 運動会予行練習(7～9・F) 運動会開会式 前日準備	日	火	金	月 個人面談終(E)	月 振替休日	22
23	金 4時間授業(1～5)5時間授業(6)	月 勤労感謝の日	水	土	火 天皇誕生日	火 4時間授業 大掃除(1～8) 給食なし	23
24	土 運動会 初等部AM 中・高等部PM	火	木	日	水	水 修了式 4時間授業 給食なし	24
25	日	水 就学時検診 歯科健診(7～9・F)	金 全校朝礼 給食あり 大掃除 移杖式 4時間授業(1～3)	月	木 クラブ⑩	木 卒業式(小) 給食なし	25
26	月 振替休業日	木 社会科見学(5) 三者面談 4時間授業(7～9)	土 冬季休業日始	火	金 ありがとう集会(1～6)	金 休業日(1～4・7・8) 春季休業日始	26
27	火 運動会閉会式 個人面談始(E)	金 三者面談 4時間授業(7～9)	日	水 中・道徳授業地区公開講座	土	土	27
28	水	土	月	木 クラブ⑨クラブ見学(3)	日	日	28
29	木 クラブ⑤ 進路面談・4時間授業(9)	日	火	金 新入生保護者説明会(小中)		月	29
30	金 進路面談・4時間授業(9)	月 三者面談 4時間授業(7～9)	水	土		火	30
31	土		木	日		水	31

渋谷本町学園標準服販売店のご案内

標準服を下記日程・販売店にて採寸いたします

標準服採寸受付期間：2027年1月29日（金）～2月12日（金）

取り扱い販売店

東京柔道衣工業（株）（東柔）

住所：渋谷区本町1-4-15-201
（初台駅前ファミリーマートのマンションの2F）
オートロックですので201を呼び出してください
TEL：03-3376-2441

ブティック ミセス

住所：渋谷区本町5-1-1
（本町コミュニティセンター前）

TEL：03-3377-3583

お問い合わせの際は、販売店に直接ご連絡ください

▶標準服
（5～9年）

男女共通



▶服装（体操着・ジャージ）



▶部活動 文化部(令和 8 年度の場合)

美術部 (部員数 23 名)

英語部 (部員数 21 名)

吹奏楽部 (部員数 45 名)

第 66 回東京都中学生吹奏楽コンクール B 組銀賞

▶部活動 運動部(令和 8 年度の場合)

卓球部 (部員数 15 名)

渋谷区中学校卓球大会 個人戦女子優勝・5 位

東京都総合体育大会 個人戦 3 位入賞

関東大会 個人戦出場

陸上部 (部員数 35 名)

東京都地域別大会 区部西部大会

女子共通リレー 第 1 位 女子共通 100MH 5 位

東京都総合体育大会・東京都通信陸上大会

女子共通リレー 第 4 位

男女バスケットボール部 (部員数 45 名)

令和 7 年度渋谷区新人大会 第 3 位

女子バレーボール部 (部員 14 数)

女子ソフトテニス部 (部員数 19 名)

水泳部 （部員数 13 名）

東京都中学校学年別水泳競技大会 出場

渋谷区民水泳大会 各種目上位入賞

野球部（代々木・笹塚中学校と合同 部員数本校8名）

ブロック大会準優勝

東京都大会出場

サッカー部 （本校部員数 32 名 ）

シブヤユニテッドについて

渋谷区では、シブヤユニテッドに部活動の委託を進めており、7 月より本校もユニテッドコーチによる部活動指導の体制に移行しました。運動部での活動を希望する場合は、校内での入部手続きに加え、シブヤユニテッドでの活動に参加するための申請も同時に行います。

指導者はユニテッドコーチですが、活動場所は、原則本校です。

令和 7 年度の進路報告、推薦基準等

1. 令和 7 年度 第 9 学年進学先

・国公立学校(29校)

青山、赤羽北桜、井草、板橋、上野、神代、国際、小山台、桜町、石神井、新宿山吹、杉並、杉並総合
世田谷総合、総合工科、田柄、戸山、豊多摩、西、晴海総合、光ヶ丘、日比谷、広尾、府中工科、松原
武蔵野北、目黒、芦花、六本木、県立西湘

・私立学校(22校)

関東国際、慶應義塾、実践学園、松蔭大学附属、昭和鉄道、専修大学附属、大智学園、大東学園
中央学院大学中央、東亜学園、東海大学付属相模、東京立正、豊島学院、二階堂女子、日本大学櫻丘
日本大学鶴ヶ丘、日本工業大学駒場、日本体育大学荏原、保善、堀越、明星、遊学館

・その他(7校)

産業技術高等専門学校(※高専)、中野特別支援学校、NHK 学園高等学校(広域通信制)
中央国際高等学校(広域通信制)、ドワンゴ学園 R 高等学校(広域通信制)、代々木高等学校(広域通信制)
ヒューマンキャンパス(広域通信制)

2. 渋谷本町学園の進路指導について

【渋谷本町学園中学校における推薦者の承認について】

高校受験では、都立高校の全て、また多くの私立高校が推薦制度を用いた受験を実施しています。渋谷本町学園中学校では、次の条件を満たす者を推薦者として承認します。

1 渋谷本町学園中学校長が認める者

2 上級学校の推薦基準を満たしている者

ただし、推薦者として承認されても、合格者を決めるのは上級学校側です。そのことを考えながら、規則正しい学校生活を送り、自身の学力を向上させていきましょう。

本校では、生徒一人一人の希望や適性、これまでの学校生活の様子を踏まえ、無理のない進路選択を大切に
した指導を行っています。特に都立推薦入試については、学習状況や生活態度、志望理由などを総合的に判断
し、十分な準備が整った生徒のみが受験する方針としています。そのため、昨年度は 79 名中 23 名の生徒が
都立推薦を受検しましたが、推薦にとらわれることなく、一般入試や私立併願、通信制高校、高等専門学校な
ど、多様な進路の中から最適な選択ができるよう支援しています。今後も、保護者の皆様と連携しながら、生徒
が自分の将来を主体的に考え、納得のいく進路決定ができるよう、面談や情報提供を通して丁寧に進路指導を
行ってまいります。

3. 入試等における方向性について

令和 7 年度入学者選抜では、具体的には、推薦に基づく選抜や文化・スポーツ等特別推薦において、各学校
の教育活動の特性を生かした検査の実施が定着するとともに、感染症対応を理由とした特例的な措置や追検
査を設けない運用が継続され、平常時に近い形で選抜が行われました。また、英語の「話すこと」の力を評価す
る中学校英語スピーキングテスト(ESAT-J)の結果活用や、男女別定員制の廃止、インターネットを活用した出
願・合否照会の実施など、近年導入された制度が安定的に運用される年度となり、学力のみならず多面的な能
力や意欲を評価する入学者選抜としての方向性がより明確に示されました。

是非、最新の情報を得て、希望に沿った進路選択ができるようご家庭でのサポートをお願いいたします。

特別支援教育について

1 本校の特別支援教育について

特別支援学級に在籍する生徒及び復籍を置く生徒一人一人の実態に応じて、通常学級との交流及び共同学習を計画的に取り入れ「個別の指導計画」「学校生活支援シート」を作成して教員が連携して指導します。

2 特別支援学級 F組

<内容>

生徒の障がいの状況に照らして、「心身の健康・安全」、「対人関係の改善、集団参加」、「基本的生活習慣の育成」等を教育目標の中心とした教育を行っています。今年度、1学級11人で、基礎的基本的な知識・技術を学習します。

<希望の場合の手続き>

保護者の申込み → 渋谷区教育委員会就学相談にて判定

3 特別支援教室 くすのき

<対象生徒>

通常の学級の中で、集団生活に困り感を抱いている、読む・書く・聞く・推論するなどの力に困難があるなど個別に行います。特別支援教室は特別支援教室専門員を配置し、特別支援教室の円滑な運営を進めます。

<希望の場合の手続き>

保護者の申込み → 本校の校内委員会で検討 → 渋谷区教育委員会「特別支援教育支援検討委員会」にて判定します。

※発達検査を受ける必要あり

4 支援員の配置

<対象生徒>

通常の学級の中で支援が必要な生徒に対し、教室での授業の場面で授業の内容に関して個別の説明や声かけを必要とする生徒

<希望の場合の手続き>

保護者からの申込み → 本校の校内委員会で確認 → 申請へ